

令和8年第8回京田辺市教育委員会定例会会議録

日 時 令和8年8月21日（金）午前10時00分 開会
午前10時30分 閉会
場 所 京田辺市役所3階305会議室

会議日程

日程第1 教育行政報告
日程第2 報告第17号 専決処分の報告について
日程第3 議案第42号 幼保連携型認定こども園の設置等に関する意見について

出席者

教育長	山岡	弘高
委員（教育長職務代理者）	藤井	直
委員	上村	真代
委員	伊東	明子
委員	塘	利枝子

（事務局出席職員）

教育部長	古谷	隆之
教育指導監	芹澤	雄一
教育部副部長	栗山	志津代
教育総務室担当課長	平岡	孝章
こども・学校サポート室総括指導主事	南部	智彦
学校教育課長	村山	茂
学校給食課長	小畑	裕子
社会教育課長	早田	陽輔
社会教育課担当課長	七五三	和広

こども未来部長	河本	佐和子
こども未来部副部長	田原	暁
保育幼稚園課長	藤田	大典

（事務局書記職員等）

教育総務室総務係長	志場	吉洋
教育総務室企画係長	濱本	武志

会議の要旨

○開会宣言

教育長が開会の宣言をした。

○日程第 1 教育行政報告

[報 告]

前回の会議以降の教育行政関係行事について資料配付により報告。

[質 疑]

なし

○日程第 2 報告第 17 号「専決処分の報告について」

[説 明]

(事務局)

資料に基づいて説明

[質 疑]

(藤井委員)

幸い相手側と市職員双方に怪我はなかったとのことだが、このような事故が起きたときに、庁舎、学校内で、啓発、注意喚起する機会を設けられないか。

(事務局)

公用車における事故については、教育委員会だけでなく市全体で、議会から「事故が多いのではないか」との指摘を受けている。それを踏まえ、昨年度から公用車所管課である管財課を中心に、全体的に事故防止のための検討を行っているところである。

事故防止のための研修を行う、庁内周知を行う等、取り組んでいるところだが、教育委員会としても校長会に対する報告等について検討したく考える。

[会議の非公開]

日程第 3 については、教育長が議事の内容を踏まえ、会議を非公開とすることについて提案し、委員全員から同意が得られたため、会議を非公開とすることとなった。

○日程第3 議案第42号「幼保連携型認定こども園の設置等に関する意見について」

[説 明]

(事務局)

資料に基づいて説明

[質 疑]

(塘委員)

1点目の質問として、薪こども園では3歳以上のこどもを受け入れるとのことだが、3歳未満である3号認定のこどもについてのニーズはどうなのか。2点目の質問として、資料P.5の避難訓練について、幼稚園からこども園に変わるということは、児童福祉法の関係で月に1回避難訓練を行う等、訓練の回数が増えるのか。

(事務局)

1点目の質問について、0歳から2歳までの保育ニーズについては非常に多く、市としてはこれまでに小規模保育事業所の整備等で対応してきたところである。その小規模保育事業所の整備に伴い、今度は3歳以降のこどもの受け皿の整備が課題になってきたということがあり、今回薪幼稚園をこども園へ移行することとなった。

2点目の質問については、お示しのとおりである。

[採 決]

原案どおり可決された。

[会議を非公開とすることの終了宣言]

非公開事件の議事日程が終了したため、教育長が、会議を非公開とすることの終了を宣言した。

○その他

附議事件とは別の報告として、次の事項について事務局から報告があった。

- ・「令和8年熊本地震に係る京田辺市の支援状況等について」

(事務局)

令和8年7月28日に発生した令和8年熊本地震について、本市の支援状況等を報告する。

地震発生を受け、7月31日から本市庁舎2階に義援金箱を設置した。

8月3日に京都府から職員派遣の依頼を受けたため、京都府職員4名、各市町職員4名の合計8名を5日間ずつ宇土市へ派遣、本市からは8月20日から8月25日まで、罹災証明書発行業務等の支援のため職員1名を派遣している。

市営住宅については、8月12日から避難者受け入れの案内を開始した。

続いて、本市教育委員会の対応について報告する。

8月5日に京都府教育委員会から京都府災害時学校支援チーム D-EST 京都運営本部立ち上げと、そのチーム員の派遣決定の通知を受けた。

本市からは3名選出されており、うち1名が第4陣のメンバーとして9月14日から18日まで派遣される予定である。児童、生徒の心のケアを中心とした学校教育活動再開支援を担う予定である。

その他、8月18日には、被災した児童、生徒からの受け入れ希望に対する弾力的な対応に係る通知を受けている。

最後に、他部局の支援予定について報告する。

上下水道部が対応する応急給水については、本市は城陽市の後に派遣される予定で、早くて9月4日からであると聞いている。

保健師についても、1名派遣予定と聞いている。

[質 疑]

(藤井委員)

全国的に立ち上げられた D-EST で、本市としてこのような大規模地震被害支援のため派遣されるのは初めてではないかと思う。

被災地で支援を行った職員からの報告会等は非常に学ぶ価値の高いものである。次はいつどこで災害が起こるか分からないし、当事者になる可能性も十分に有り得るので、被災地から職員が戻ってきた後の報告会等で真摯に学んで、生かしていただきたい。

(事務局)

能登半島地震の際も市から職員を複数名派遣し、帰ってきた後に報告会を開いた。その時の対応を参考にしながら、いただいた意見を踏まえ、報告会の実施を検討したと思う。

(教育長)

D-EST の本市からの1名は、すでに決まっているか。

(事務局)

本市小学校の養護教諭が派遣されることとなった。

○閉会宣言

教育長が閉会の宣言をした。